

第六次総合計画 施策評価シート(令和2年度)

施策

一人一人が生涯を通して行う学習を支援するとともに、生涯学習による地域の活性化を推

担当部局

教育委員会, 企画財政局, 保健福祉局

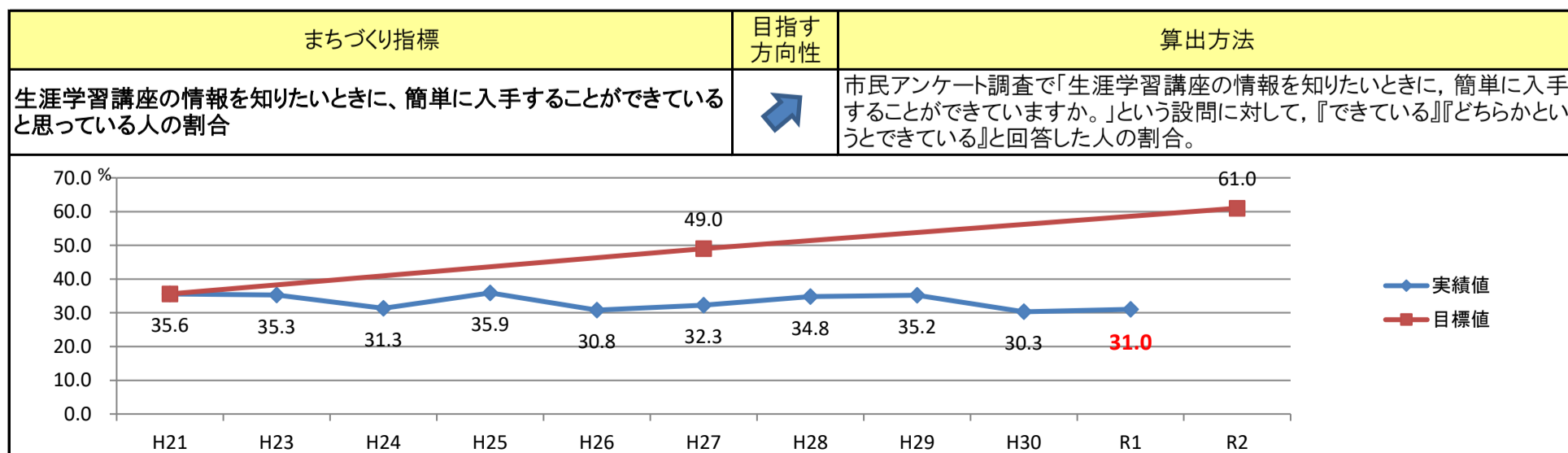
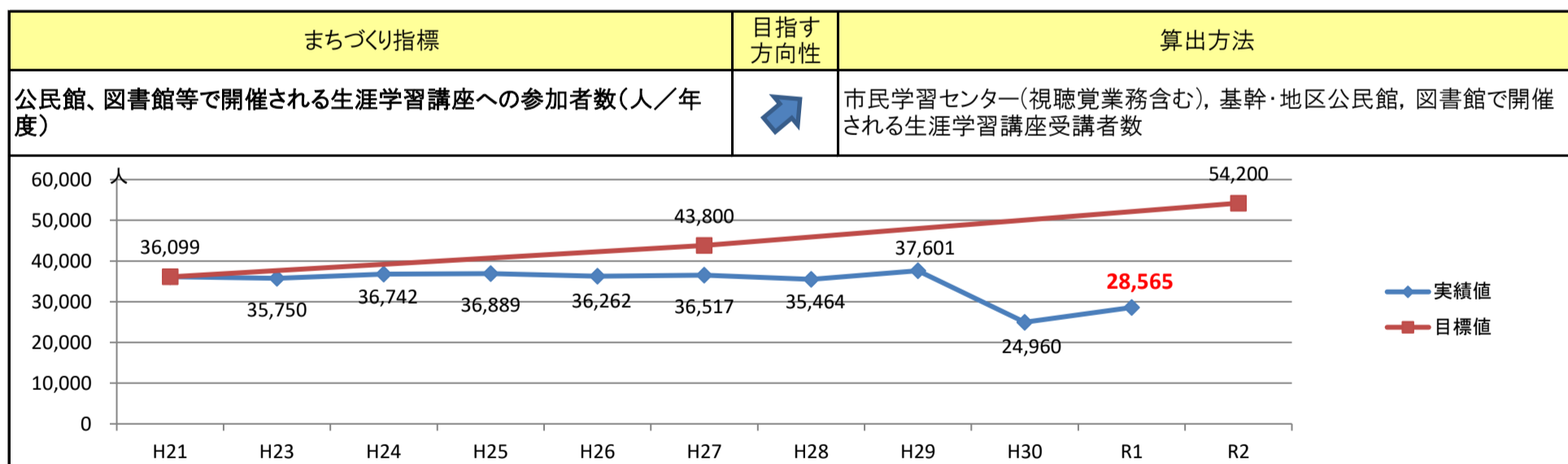
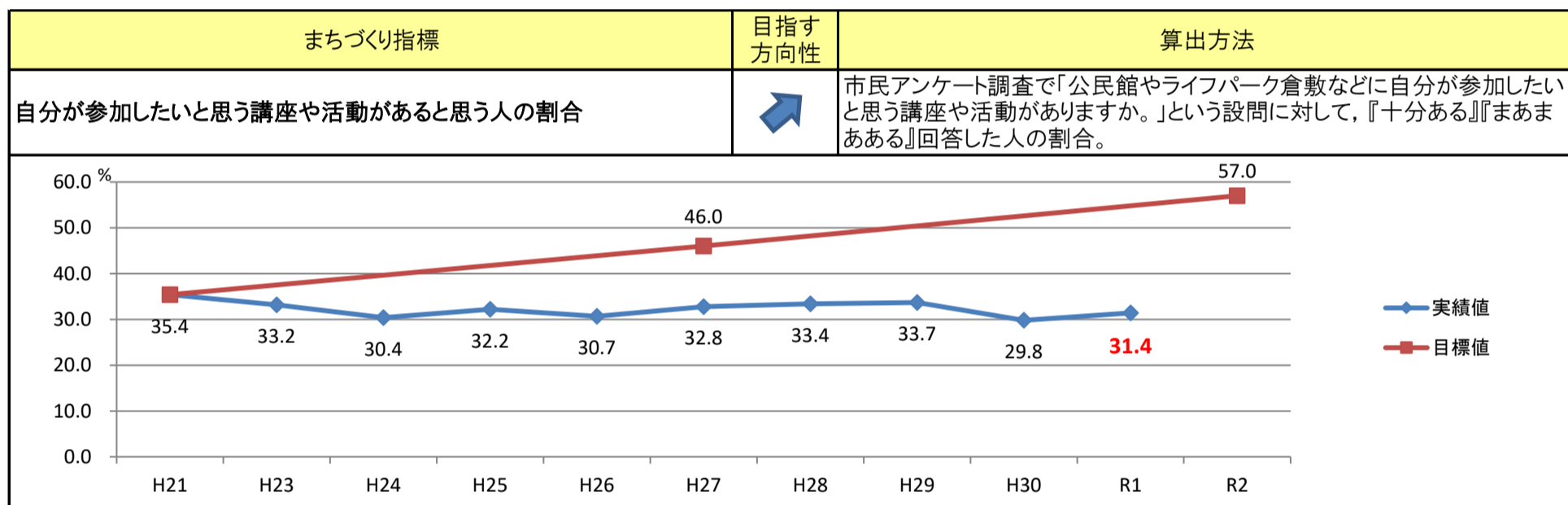


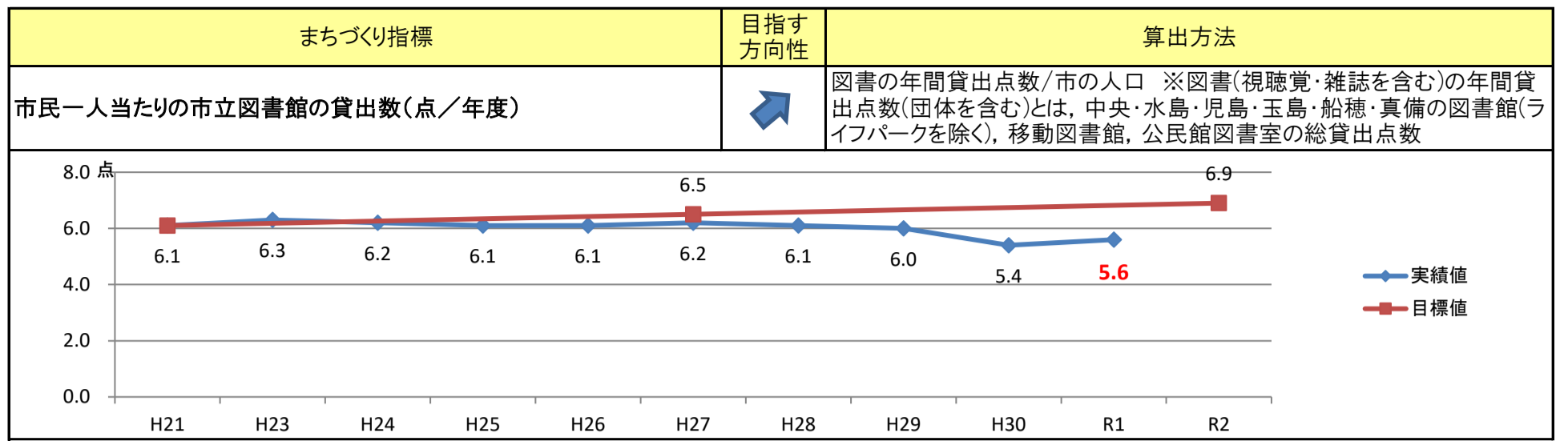
【豊か】 めざまちの姿 だれもが興味があることを、気軽に学んでいる

市の基本方針

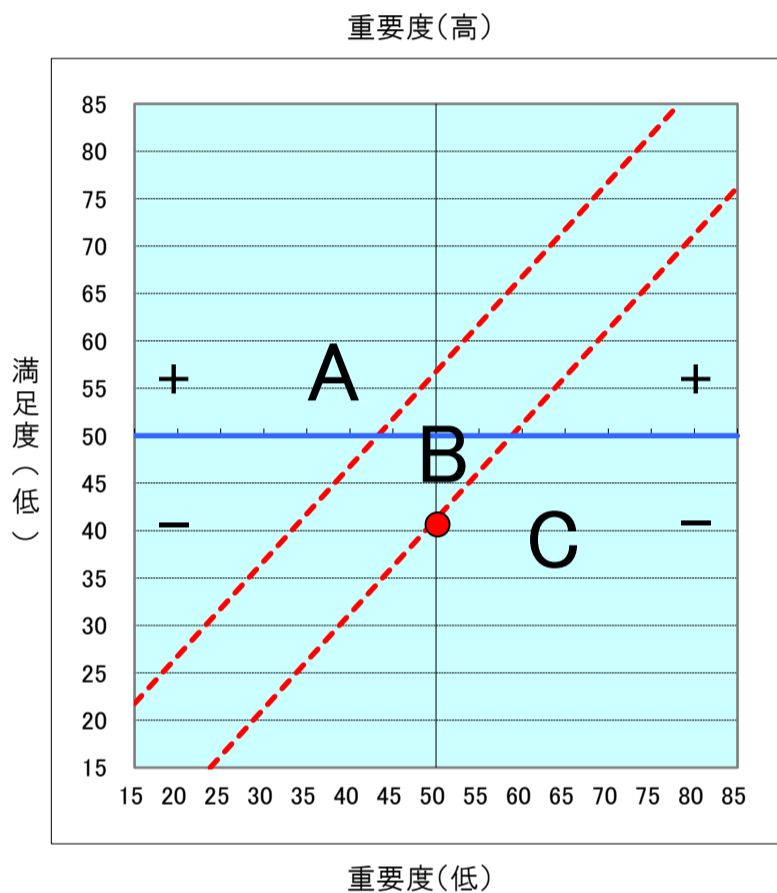
- あらゆる世代のニーズに対応した学習機会を提供するとともに、情報提供の充実に努めます。
- 学習や地域づくりの拠点となるよう、また、多くの市民が利用しやすいように施設機能の充実に努めます。
- 多様化する市民ニーズの把握に努め、求められる知識や技能を習得する講座を企画するとともに、学習した成果を地域で生かせるような仕組みづくりを進めます。
- 大学などの高等教育機関や企業、民間団体など、多様な主体と連携した生涯学習を推進します。

数値目標





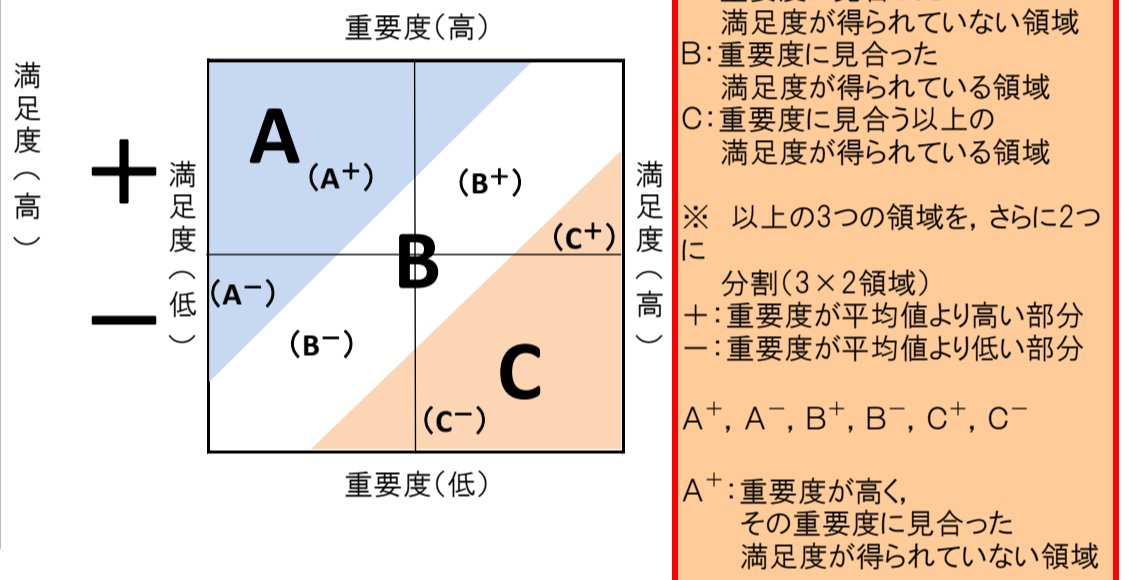
市民の重要度・満足度(R2.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
C ⁻	40.63	50.18

- 重要度に見合う以上の満足度が得られている(C)
- 重要度が平均値より低い(-)

【グラフの見方】



施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(I) / 令和元年度の主な実績(II) / 今後の方向性(III)	R1年度決算額(千円)
	生涯学習推進事業	(I) 市民の自主的な学習活動に対する支援と市政に関する理解・意識啓発を図ることを目的に実施した。 (II) 市の行政活動を分かりやすく伝えるため市職員が地域に出向く出前講座を実施した。4月に広報のためパンフレットを作成し、全戸配布した。延べ928講座を開講し、47,743人の参加があった。 (III) 新たな学びの機会の提供方法を検討しながら、継続して実施する。	594
創	子どもセンター事業(再掲)	(I) 児童が安心して安全に過ごせる居場所を提供し、遊びを通じて、児童の健康を増進することを目的に、情報誌の発行及びイベントを実施した。 (II) 情報誌「パワフルキッズ」を年4回発行し、各種イベント情報の周知に努めるとともに、親子で楽しめるイベントを年7回実施した。1,284人の親子が参加し、親子のふれあいを深めることができた。 (III) 今後も引き続き、親子の体験活動の場の提供に努める。	2,763
	子育て広場開設事業(再掲)	(I) 子育ての不安や悩みを解消し、楽しく子育てできることを目的に、就園前の乳幼児とその保護者を対象とした「子育て広場」を開設した。 (II) 幼稚園等10カ所で開設。269回実施し、延べ6,567人の親子が参加した。 (III) 継続して実施する。	2,999
	青少年健全育成団体支援事業	(I) 地域で青少年健全育成活動を行っている「青少年を育てる会」の活動を支援することを目的に実施した。 (II) 「青少年を育てる会」が実施する青少年健全育成事業や家庭教育推進事業に要する経費に対し、補助金を交付した。各中学校区で実施する家庭教育講演会には、24,513人が参加した。また、倉敷市青少年を育てる会指導者・少年補導委員合同研修会を実施し、301人が参加した。 (III) 青少年健全育成活動の振興のため、関係団体と連携を取りながら、継続して実施する。	10,264

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
重創	地域連携による学校支援事業(再掲)	(Ⅰ) 地域全体で学校教育を支援する体制を整え、生涯学習の成果を活かした地域住民による学校支援活動を推進することにより、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域の教育力の活性化を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 小学校区45カ所、中学校区19カ所、支援学校区1カ所で事業を実施した。ボランティア登録人数は6,681人、延べ237,864人のボランティアが学習支援や環境整備、地域活動などの学校支援活動に参加した。 (Ⅲ) 実施校拡大を図りながら継続して実施する。	36,285
	図書館図書購入事業	(Ⅰ) 生涯学習拠点として市民の多角的な学習への支援や課題解決を図るため、また、誰もが読書活動を楽しむため、組織的に資料を収集することを目的として実施した。 (Ⅱ) 収集基本方針に基づき、図書館全体で一般書31,255冊、児童書11,581冊を購入した。なお、子育て支援、農業・ビジネス支援のほか闘病記コーナーや高齢者のための資料の充実に努めた。 (Ⅲ) 令和2年度も継続して子育て支援、ビジネス支援等の資料充実に努める。また社会情勢や市民ニーズに合った図書を購入する。	86,228
	生涯学習活動推進事業	(Ⅰ) 市民の多様な学習ニーズに対応した講座の開催や、地域・社会が抱えるさまざまな課題の解決へのきっかけとなるような学習機会の提供を目的として実施した。 (Ⅱ) 市民学習センター及び公民館では、生涯学習講座を845講座実施し、受講者数は16,958人であった。市民学習センターでは、くらしき市民講座の充実に図り、公民館では地域ごとの課題解決につながるような内容の講座に重点をおいて実施している。 (Ⅲ) 今まで以上に、地域が抱えている課題を解決できるように講座内容のさらなる充実に図りながら、講座等で学んだ知識を地域へ還元できる仕組みづくりを考え、継続して実施する。	269,979
	宇宙劇場運営事業	(Ⅰ) 科学及び科学技術の知識の普及・啓発を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) プラネタリウム、全天周映画の一般投映、学習投映(主に学校団体)を行い、66,257人が観覧した。また科学センター全体の年間利用者数は、改修工事のため宇宙劇場を約7カ月休演した前年度より30,255人多い175,820人であった。 (Ⅲ) リニューアルした最新のプラネタリウムの機能を活かしつつ、時流の科学や天文の話題をうまくとらえた番組作りを行い、継続して実施する。	36,936
	生涯学習環境整備事業	(Ⅰ) 市民の生涯学習実践ニーズに応えるため、トイレの洋式化など必要な施設・設備の整備を行う。 (Ⅱ) ライフパーク倉敷、玉島北公民館、真備公民館菌分館ほか2館のトイレの洋式化等修繕及び庄公民館ほか1館のガスオープン・ガスコンロ等更新修繕等を行った。 (Ⅲ) 今後も引き続き、市民にとってより利便性の高い施設になるよう、施設・設備の整備・改修を継続して実施する。	25,686
	ネットワーク・システム整備事業	(Ⅰ) 学校園と生涯学習施設、教育委員会におけるネットワーク(校務用・教育用・図書館用)やそれを利用して使用する各システム(教育用システム・学校園事務ネットワークシステム・総合情報配信システム・図書館システム等)の整備と保守を行い、セキュリティ確保および業務の安定稼働に努める。 (Ⅱ) 教育委員会が管理するネットワーク機器を更新し、セキュリティの確保された環境の中で安定的に業務が実施できるような整備に努めた。また、教育委員会が管理するネットワーク及びシステムが安全な環境で安定的に業務ができるように、運用支援と保守を行った。 (Ⅲ) セキュリティの高い環境で安定した業務が行えるよう、継続して実施する。また、今後はICT環境を活かして各システムの利便性を向上できるよう、情報機器環境の整備を進める。	249,687
	地(知)の拠点大学との連携による学校支援事業	(Ⅰ) 地(知)の拠点整備事業に取り組む大学と連携協力して地域の魅力発信事業を行うことで、教員と学生の資質・能力の向上及び地域活性化の実現を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 各課の取組は次のとおり。 生涯学習課、倉敷芸術科学大学と連携し、高梁川流域連盟ホームページの各種コンテンツの作成や動作環境を改善した。 自然史博物館、倉敷芸術科学大学の学生がイベントボランティアとして運営に協力したほか、自然観察会の講師を大学教員が務めるなど、活発な人材交流が図られた。 美術館、くらしき作陽大学と連携し、ウエルカムコンサートを実施した。 (Ⅲ) 生涯学習課の事業は令和元年度で完了したが、自然史博物館と美術館は継続して実施する。	—
公創	高梁川流域大学連携推進事業	(Ⅰ) 市内の大学等の有する知的財産を地域の活性化に役立て、大学と連携した生涯学習の推進を図ることを目的に実施した。 (Ⅱ) 27講座を開催し、延べ744人の参加があった。また、COC事業の継承事業として学生主導型の講座を新たに実施した。 (Ⅲ) 各大学等の特色と専門性を生かし、テーマの選定や開催場所、情報提供の方法等を工夫するほか、受講対象者を高梁川流域(7市3町)に継続して拡大し、高梁川流域連携中枢都市圏事業の一つとして実施する。	3,193
公創	高梁川流域学校事業	(Ⅰ) 高梁川流域7市3町の大学・企業・各種団体等によるネットワーク組織によって、流域の自然、歴史・文化、産業、町並み等をテーマとした学校教育の補完や企業研修等を実施。圏域の将来を担う人材育成とコミュニティの意識向上を図る。 (Ⅱ) 倉敷市を含む高梁川流域圏域において計13事業を実施し、約4,700人が参加した。主な取組として、備中の伝統文化の発信と人材育成、後世への継承を目的とした「備中志塾」のほか、風土ツーリズムの開発等を行う「高梁川トレイル」、希少種生物の保護及び自然生命の循環を学習する「SAVEJAPANプロジェクト」などを実施した。 (Ⅲ) 5年間の取組により、圏域を担う人材育成という当初の目的は果たしたため、令和元年度で完了した。	8,485
公創	高梁川流域パスポート事業	(Ⅰ) 高梁川流域7市3町の小学生が、郷土の文化に親しむとともに、流域全体を郷土ととらえる視点をもてることを目的に、高梁川流域パスポートを作成し配布した。 (Ⅱ) 流域パスポートを提示することにより、社会教育施設62カ所で、土曜日・日曜日・国民の祝日及び振替休日の入館料が免除になるようにした。また、スタンプラリーを実施し、利用拡大を図った。7市3町の小学生3,550人が利用した。 (Ⅲ) 小学生に高梁川流域圏域の魅力を発信し、市町の交流を促進するため、継続して実施する。	817
公創	高梁川流域マップ事業	(Ⅰ) 高梁川流域連盟のホームページに圏域の文化施設や自然に関する情報等を掲載することで、地域住民が郷土への愛着心を持ち、流域の連帯感を醸成するとともに流域内外の交流を促進することを目的として実施した。 (Ⅱ) 高梁川流域連盟のホームページ、キッズサイト内に流域圏域の「指定文化財『天然記念物』」に関する情報を特集ページとして載せ、文化財の所在地を流域マップ上にも表示した。 (Ⅲ) 令和元年度をもって事業完了した。	2,713

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
公創	高梁川流域クリーン一斉行動事業	(Ⅰ) 高梁川本来の清流を取り戻すため、高梁川流域圏域内の市町で一斉に清掃活動を実施した。 (Ⅱ) 令和元年11月24日の同一開催を目標に6市3町で実施し、13,461人が参加した。 (Ⅲ) 令和2年度からは、高梁川流域連盟事業として実施する。	180
公創	高梁川流域図書館相互利用推進事業	(Ⅰ) 図書館の利便性向上及び圏域の文化発展に資することを目的として、高梁川流域圏域7市3町の全ての公立図書館で図書などの貸出・返却の相互利用サービスを実施した。 (Ⅱ) 令和元年度の本市図書館の利用実績は、本市以外からの利用者延べ1,595人、貸出冊数延べ5,270冊であった。圏域全体では、当該市(町)外からの利用者延べ25,894人、貸出冊数延べ117,648冊となっている。 (Ⅲ) 圏域全体の利用は着実に伸びており、継続して実施する。	1,157
公創	高梁川流域学びなおし支援事業	(Ⅰ) 高梁川流域圏内の15歳から39歳までの方を対象として、自発的に社会とつながりを持ち、就労等へと結び付けられるようカウンセリング・学習支援・居場所の提供を実施する。 (Ⅱ) くらしきシティプラザ西ビル5階に開設した「まなびばippo(いっぽ)」で実施。男女45人の利用登録があった(うち、倉敷市在住者は37人)。カウンセリングに延べ111人(家族含)、学習支援に延べ845人、居場所に延べ442人の利用があった。 (Ⅲ) 利用者が次の一歩に進めるよう、受託団体と協議しつつ、実施していく。	8,924
	自然史博物館管理運営事業(再掲)	(Ⅰ) 施設・設備の適切な維持管理、効果的な広報活動、博物館協議会の開催、アンケートの実施等を通じて、安全・快適で利用しやすい環境整備や利用者増に努める。 (Ⅱ) 主な実績は次のとおり。 1 広報広聴活動(公式ツイッター、公式インスタグラムなどSNSの活用)、博物館協議会の開催。 2 博物館協議会の意見を踏まえて「中期計画」を策定した。 (Ⅲ) 今後の方向性は次のとおり。 1 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点を踏まえ、「新しい生活様式」を取り入れた施設運営に努める。 2 倉敷市公共施設等総合管理計画の個別施設方針・計画の策定を通じて、今後の施設の方向性を定める。	18,789
	自然史博物館調査研究、標本・文献等収集、展示、特別展事業(再掲)	(Ⅰ) 市民の教養文化の向上に寄与することを目的として、自然に関する資料の収集、保管、調査研究をするとともに、その成果を展示する。 (Ⅱ) 主な実績は次のとおり。 1 調査研究事業…研究報告35号の発行。専門誌等への寄稿118件。 2 標本・文献等収集保管事業…標本等約59,000点、文献等3,275点の受入れ。脊椎動物グループ(標本作製ボランティア)の活動支援。 3 展示事業…「新着資料展」、「草地功地学標本コレクション展」などを実施。 4 特別展事業…第28回特別展「地球の元素」を開催。観覧者数12,622人。 (Ⅲ) 様々なニーズへの対応、及び新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点を踏まえ、「新しい生活様式」を取り入れて継続実施する。	3,963
	自然史博物館教育普及、まつり事業(再掲)	(Ⅰ) 次世代における人材育成に貢献することを主眼として、学校園等団体及び市民への学習支援を行う。また、市民協働による事業として11月3日に自然史博物館まつりを開催する。 (Ⅱ) 主な実績は次のとおり。(数字は参加者数、カッコ内は野外活動における中学生以下の人数) 1 教育普及事業…各種観察会等の参加者計3,574(577)人。[内訳:自然観察会789(256)人、博物館講座184人、特別展開連講座83人、自然の標本なんでも相談会95人、動物研究会20(8)人、むしむし探検隊延べ162(33)人、植物教室21(6)人、手作り・折り紙教室延べ609人、スライド映写会32人、昆虫標本作り体験教室7人、出前講座等1,572(274)人]。レファレンス件数976件。 2 自然史博物館まつり事業…参加者数5,701人。 (Ⅲ) 様々なニーズへの対応、及び新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点を踏まえ、「新しい生活様式」を取り入れて継続実施する。	1,021
	子ども読書活動推進事業	(Ⅰ) 「倉敷市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちに読書に親しんでもらうため、おはなし会(読み聞かせ等)等の事業をボランティア等と協働し実施する。 (Ⅱ) 1 倉敷市子ども読書活動推進講座として、ボランティア等と協働して、家族が本を通してふれあいを持てる講座等を計23回実施し、442人が参加した。 2 読み聞かせボランティア募集と育成のための講座を、中央・児島・玉島図書館での6回実施し、延べ60人が参加した。 3 こども読書通帳を、各図書館で令和元年度は約1,700部を配布した。配布開始(平成27年4月)からの累計は約14,700部。 4 図書館を使った主体的な学習への支援として、「第2回郷土の魅力発見! 図書館で調べる学習コンクール」を実施し、作品募集だけでなく、各館で、主体的な学習を支援する講座を計13回実施し、176人が参加した。 (Ⅲ) 各課と協力しながら、継続して実施する。	93
公	公民館施設整備事業	(Ⅰ) 老朽化した琴浦公民館の建替えを行う。 (Ⅱ) 設計・施工一括発注方式(デザイン・ビルド方式)による建替事業者の選定、契約の締結、工事着工、解体工事を完了した。 (Ⅲ) 令和3年2月末の完成予定を目指し継続して実施する。	149,402